

この取扱説明書は、ヒットエアエアバッグシステムを、安全かつ適切にご利用頂くために、必ずお読みください。また、いつでも読めるように、大切に保管してください。

取扱説明書で使われるマークは、次の状況を意味します。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると人が死亡、又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

警告 1. ヒットエアは、乗馬の際に使用するもので、救命衣等、他の利用は出来ません。

警告 2. ヒットエアは必ず、上衣として、サイズのあったものを着用して下さい。

警告 3. 使用済のカートリッジボンベを取り替える際は、モデル指定のサイズ(容量)のカートリッジボンベを使用して下さい。封板(底部/ネジ部先端)に穴が開いていないことを確認してご使用ください。

警告 4. ヒットエア内蔵のパーツを分解しないで下さい。

注意 5. ヒットエアを着用する場合は、下に着ている衣類の中に、突起物、鋭利な物はいれしないで下さい。着用前には必ず取り外して下さい。(例:ピン留めした名札、バッジ、ペン、ネクタイピン等)作動時及び、作動後にも気室(エアバッグ)を傷つけ、正常に膨らまない場合があります。

注意 6. ヒットエア取扱時は、火気厳禁して下さい。タバコ等が原因で、穴があいたり、破れたりした場合は使用できません。又、炭酸ガスボンベを内蔵しておりますので、使用時、保管時ともに40℃以下での使用に限ります。高温になると破裂の危険があります。

注意 7. ワンタッチリリース(コネクター)をはずすのを忘れて馬から降りると、引っ張られた伸縮ワイヤーによってヒットエアが作動しますので必ず馬に股がついた状態でワンタッチリリース(コネクター)をはずして馬から降りて下さい。

注意 8. 着用の前には、各部の破損などを自主点検してから着用して下さい。お気づきの点等あれば、取扱店にご相談下さい。

5

24

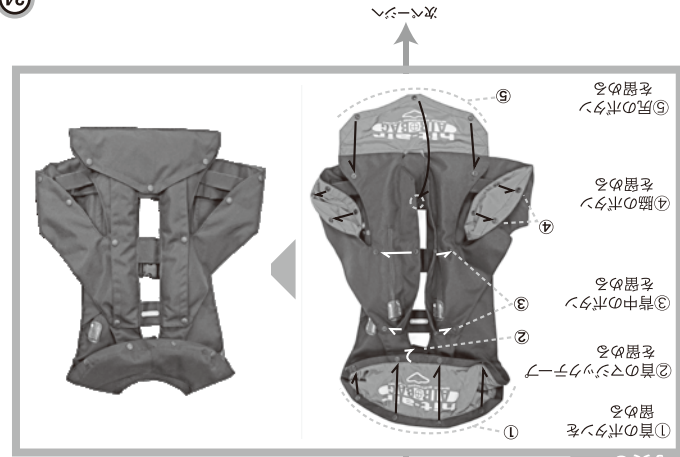


写真8

8 各気室を収納して全てのボタンを止めます(写真8)

注意 この作業が完全に行われない場合は各気室部分の収納がうまく出来なくなり、また、エアバッグの誤作動の恐れがあります。

7.エアバッグ(気室)からエアを抜きます(写真6) 気室から入力を抜く作業を行います。突起物などの無い平坦な場所にヒットエアを広げて各気室部分を押すようにして入力を抜き出して下さい。丸めたり、畳んだりする行為はおやめ下さい。内部部品に損傷を与える場合があります。根気よくほぼ完全に力が入り抜けるまで行って下さい。



- 1. ヒットエア一体型エアバッグは洗濯・クリーニングは出来ません。
2. ヒットエア一体型エアバッグは水に浸けないで下さい。
3. 雨天などで濡れた場合、日陰干しをして下さい。
4. ヒットエア一体型エアバッグが汚れた場合
・濡れタオル等で汚れを拭き取るようにして下さい。
・ボンベを付けたままハンガーにかけ、お風呂場などで表面にシャワーで水をかけて汚れを落とすして下さい。その場合、キーボックスに直接水をかけないでください。
注意 1. 洗剤や柔軟剤等はフィルムにダメージ(硬化、ひび割れ等)を及ぼす場合がありますので使用しないで下さい。

このエアバッグは洗濯できません。



ヒットエアを永く安心して使用するために、次のような所や条件下では保管しないで下さい。

- 1. 高温になる所(直射日光の当たる場所、車中、ストーブの近くなど)
2. 雨漏りする場所
3. 蒸気のある場所
4. 湿気が多い場所
5. 他の物の下積み
6. ネズミなどの害のある場所
7. 子供の手の届く場所
8. 折り畳んだり、丸めたりしての保管(ハンガー掛けにして下さい)

※1>一定の距離とは、ヒットエアを着用し、馬に股がワンタッチコネクターを接続して競走状態になった状態をいう。方向は前後左右を問わず同じである。
※2>厚さとは、ヒットエアを着用し、ワンタッチコネクターを接続して競走状態になった状態で伸縮ワイヤーに障害物(馬、荷物、その他)などが触れたからんだ場合の事をいう。これらの場合、一定の距離に至らなくとも作動する事があります。

ヒットエア(衝撃緩和保護システム)は、乗馬の際、上衣として着用します。
アサシフトにより馬から一定の距離(※1)離れた瞬間に、キーホルダーが抜け、ヒットエアに組み込まれたキーボックスが作動して、カートリッジボンベより炭酸ガスが各気室に送り込まれ、瞬間的に膨張するようになります。その膨張した気室が、人体と外部の接触物との間に入り、衝撃を緩和する仕組となっています。このような特性を持つて人体各部への損傷を少しでも軽減出来る事を目的として作られたシステムです。
「本製品は、着用していれば必ず安全である、又、安全を保証するものではありません」
キーホルダーは、簡単に抜けにくい仕組になっており(4.3 キーホルダー(P.12)参照)乗馬の際に予選される動作は、伸縮ワイヤーによって吸収され作動しにくいようになっています。

